

カノコソウ・シャクヤクを作ってみませんか？

～試作栽培・生産者募集～

2024年開催「重点品目説明会」でカノコソウ・シャクヤクを取り上げます
説明会へのご参加、試作栽培生産者募集へのご応募をお待ちしております

カノコソウはオミナエシ科の一年草で、冷涼な地での栽培が適しています。根と根茎は生薬吉草根（キツソウコン）として用いられ、鎮静作用や睡眠の改善作用のほか、身体をリラックスさせる効果があるといわれています。現在、国内での使用量は年間約20トンで、その約半分が国内産です。

シャクヤクはボタン科の多年草で、冷涼な地での栽培が適しています。根を生薬として用い、鎮痛・鎮けい・婦人病・冷え性・皮膚疾患・消炎排膿などの薬効があるとされています。現在国内での使用量は年間約1700トンで、その2%強が国内産です。

日本漢方生薬製剤協会（日漢協）ではこれらを重点品目の一部として選定し、生産希望者を募りつつ漢方薬メーカーとのマッチングを進めていきます。

カノコソウ・シャクヤクがどんな作物か、試しに作ってみたいという方に、少量の苗を無償提供します（送料は応募者でご負担いただきます）。

カノコソウ基本データ：

生薬名「吉草根」（キツソウコン）

2020年度使用量：18,732 kg（うち47%にあたる8,904 kgが国内産）※2022年日漢協調べ

2021年度国内調達量：14,861 kg（国内で18番目に調達が多い生薬）※2022年日漢協調べ

主な栽培地：北海道・岩手県・奈良県など※2021年日本特産農産物協会調べ

シャクヤク基本データ：

生薬名「芍薬」（シャクヤク）

2020年使用量：1,712,407 kg（うち2.3%にあたる39,676 kgが国内産）※2022年日漢協調べ

2022年国内調達量：29,402 kg（国内で13番目に調達が多い生薬）※2023年日漢協調べ

主な栽培地：北海道・岩手・福島・長野・新潟・富山・三重・岡山など ※2023年日本特産農産物協会調べ

募集締め切り：2024年9月16日（月）※品目ごとにお申し込みください

応募者への通知：2024年9月下旬（予定）（配布の可否、可の場合は配布数量を通知）

苗の送付：2024年10月以降

締め切り後に事務局で申し込み情報をもとに審査のうえ、配布の可否ならびに配布数量を決定します。（ご希望に添えない場合もございます）

（裏面に続きます）

配布数量：

- カノコソウ：原則として1～10株（苗換算で5本～100本相当）、分解前の株を配布
（各自で1株当たり5～10本の苗に分割し、定植してください）
シャクヤク：原則として苗100～200本程度。少量（50本程度）希望も受付
（大きさ（長さ）がそろっていない苗を箱に入れた状態で配布します）

応募条件：

- ① 生薬生産をお考えの方
- ② 2024年11月までに定植できる方
- ③ 苗の送料を負担もしくは生産地まで取りに来られる方
- ④ インターネットが利用でき、YouTubeで動画視聴が可能な方
（当協議会において対応可能な範囲に限りがあり、個別指導はいたしかねますので予めご了承ください。栽培方法については、ホームページに掲載する資料・YouTubeで公開する動画をご参照ください）
- ⑤ 定植後の1年間、所定の報告フォームにご記入のうえ、メールで栽培状況をご報告いただける方
- ⑥ カノコソウ・シャクヤクの栽培に適している、冷涼な地域（※）で栽培される方を優先いたします

※1月の平均気温が6℃未満、かつ、「暖かさの指数」が45～120の地域（出典『薬用植物栽培と品質評価 Part 4 ウコン、カノコソウ、サフラン、ホソバオケラ、ムラサキ』厚生省薬務局監修／薬事日報社／1995年）

ご応募はホームページで受け付けております。

<https://www.yakusankyo-n.org/try.htm>

薬用作物産地支援協議会ホームページ内「作ってみませんか」

（参考資料、栽培関連資料、その他詳細は上記ホームページをご参照ください）

お問い合わせ先：

薬用作物産地支援協議会（日本漢方生薬製剤協会 事務局内）

TEL：03-6264-8087

E-mail：soudan@yakusankyo-n.org

参考：

苗の配布にあたっては以下の書類をご提出いただきます。

- ・受領および同意書（苗の配布時に提出）
- ・報告フォーム（所定の期日に提出、1年間で3～4回）

以上